



晩秋の那谷寺境内奇石

2026

1

January

No.7

Rotary
District 2610



国際ロータリー第2610地区
ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所
〒921-8012 石川県金沢市本江町 1-18
TEL 076-292-2610
FAX 076-292-2613

月 信

Contents

- 2 ガバナーメッセージ
- 4 新年のご挨拶
- 9 ロータリー研究会報告
- 10 委員会報告
- 11 IM開催報告
- 12 ロータリー財団グローバル補助金奨学生報告
- 17 米山奨学生・学友会報告
- 24 行事予定(1月・2月・3月)
- 25 会員数報告
- 26 R財団・米山記念奨学会寄付者一覧
- 27 会員異動

Governor's Message

ガバナーメッセージ



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第2610地区
2025-26年度 ガバナー

小山 英一（小松東RC）

1月は職業奉仕月間です

ロータリーを楽しんでいる皆さん、新年明けましておめでとうございます。早いもので2025-26年度も折り返し地点を過ぎました。今年も引き続きよろしくお願いいたします。2610地区の皆さんと、こうして新しい年を迎えられますことに、心より感謝申し上げます。

さて、ロータリーの1月は「職業奉仕月間」です。私たちロータリアンにとって、職業奉仕とは、単に自分の専門分野を活かすだけではなく、「仕事を通じて社会にどのような価値を届けるか」を自らに問い続ける姿勢そのものです。

ロータリーの創始者であるポール・ハリス氏が語ったように、職業を通して社会とつながり、信頼を築くことこそが、ロータリーの精神の中心にあります。私たちロータリアンは奉仕活動を通して、また会員同士の親睦を通して、学び合い、気づき合い、自身に問い続けています。

新年を迎え、改めて「奉仕の原点」に立ち返る必要があると考えます。

能登半島地震から2年が経ちました。いまだに生活再建道半ばで、ご苦労されている現地の方、産業や仕事の場を失い、生活基盤の回復に取り組む方がたくさんおられます。復興は長い道のりです。私たちは手を取り合いながら、被災地会員の皆さまや地域の皆さまにできるだけ寄り添って、一つひとつ支援活動を実行してきました。支援金や必要物資の提供、ボランティアの派遣、DDFを活用した復興支援事業など、ロータリーだからこそできる働きかけを積み重ねてまいりました。

Governor's Message

ガバナーメッセージ

しかし、職業奉仕の視点に立つとき、私たちが果たすべき役割は、地震発生当初の「緊急支援」にとどまりません。むしろ、今こそ、被災地に仕事に戻り、地域が再び自立できるように支えていくことが、ロータリアンの職業奉仕の真価が問われる場面ではないかと思います。

建設業、観光業、製造業、医療、福祉、教育など——それぞれの会員の職業が、被災地の未来に寄り添う力となります。専門知識の提供、ビジネスのつながりの再構築、若者の進学援助・職業支援、地域製品の販路回復など、「職業を通じての貢献」が復興の基盤を支えていくと考えています。

四つのテストの「真実かどうか」—を胸に刻むとき、私たちは改めて被災地の実情を正しく知ることが大切だと考えます。被災地の皆さまの声に耳を傾け、真に必要なとされる支援を見極める姿勢が求められると考えます。

そして「みんなに公平か」— 支援の輪が特定の地域に偏らず、広く必要な皆さまに届いているかどうか。職業奉仕においては自らの専門性を大いに生かして、その公平性と透明性を意識することが重要だと考えます。

「行為と友情を深めるか」— 継続的な復興支援活動は信頼関係なくして成り立たないと思います。被災地クラブの皆さまや地域住民の皆さまと共に考え、共に歩む姿勢こそが真の友情と連帯を育んでいくと考えます。

「みんなのためになるかどうか」— 被災地クラブ・被災地の皆さまの当たり前の日常を取り戻す支援こそが職業奉仕の真価です。能登の産業や文化をお守りして、再構築して、次世代に繋げていくことは地域一円の未来に資する奉仕になると考えます。

ロータリーの職業奉仕は、人の役に立つという誇りを仕事に吹き込み、地域の信頼を築き、社会をより良くしていく力だと考えています。能登の再生を願い、私たち自身の職業を通じて、どのような価値を生み出せるのか。今年一年、それぞれの現場で、その答えを形にしていけたらと思います。

みんなで参加しよう！みんなで行動しよう！

「寒椿 職を尽くして 復興路(ふっこうろ)」

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

Assistant Governor's New Year Message

ガバナー補佐 新年のご挨拶



富山第1グループ ガバナー補佐 橘 俊雄（宇奈月RC）

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかにお正月をお迎えの事とお慶び申し上げます。

しかしながら、まだまだ癒えない能登半島地震、豪雨災害からの復興も道半ばの状態にあります。思いを寄せて…。

さて、ガバナー補佐を拝命して半年、ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問と富山第1グループの各クラブを訪問させていただきました。皆様には温かく迎えていただき、ありがとうございます。各クラブそれぞれの地域に根差した活動を継続され、プラスαの要素を加えられながら継承、実施されていることに敬意を表します。年初の目標に向かい…運営されていること、その雰囲気等、私自身学ばせていただくことがたくさんありました。ありがとうございます。

また、当グループのIM(インターシティミーティング)は、昨年11月29日、開催させていただきました。奉仕について、地域貢献について、理解を深め、相互に交流を深めました。

あと半年、会員皆様のご理解とご協力を頂きながら、地区内のクラブがそれぞれに輝くことが出来るように、未熟なガバナー補佐ではありますが、皆様と情報共有してゆきたいと思っております。

本年もよろしくお願い申し上げます。



富山第2グループ ガバナー補佐 高木 悦郎（富山シティーRC）

新年あけましておめでとうございます。昨年は担当する10クラブを訪問し、それぞれの歩みや大切にしている想いに触れることができました。地域に根ざした多様な活動こそが、ロータリーの原点であると改めて実感しております。

職業奉仕を軸に力強い存在感を放つ富山クラブ、自由闊達な風土が魅力の富山南クラブ、伝統行事を通じて強い結束力を持つ越中八尾クラブ、歴史と伝統を重んじつつ調和が心地よい富山西クラブ、障がい者支援を中心に継続的奉仕を実践する富山中クラブ、信仰の地である郷土への愛にあふれる上市クラブ、先輩と若手との信頼感・連携が光る立山クラブ、自由と自主を尊重しつつ一致団結する富山シティークラブ、真摯さと温かさが成長の原動力の富山みらいクラブ、夜間の定例会を心から楽しむ富山大手町クラブ。いずれも個性豊かで魅力に満ちています。

Assistant Governor's New Year Message

ガバナー補佐 新年のご挨拶

2月17日の IMでは「まざりあうことから開ける可能性」をテーマに、皆さまとまざりあって、ラーニングを学び新たな気づきを得る場にできたら、と思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



富山第3グループ ガバナー補佐 牛塚 松男（新湊RC）

ロータリアンの皆様、明けましておめでとうございます。

今年の干支は「午」。情熱をもって駆け抜ける年にしたいものです。

さて、ロータリー活動もほぼ半年を過ぎました。この間、各クラブ訪問をさせていただき、引き続き小山ガバナーの公式訪問にも同行さ

せていただきました。まず驚いたのは各クラブの例会の違い。プログラムはほぼ同じですが、「ロータリーソングを月1回英語の曲(R-O-T-A-R-Y)で歌うクラブ」「毎週の夜間例会後結構な会員が2次会に向かうクラブ」「SAAが会員の服装もチェックするなど完全に仕切っているクラブ」「新入会員が顔を覚えてもらうため点鐘前に例会場の前でタスキをかけ出迎えるクラブ」・・・長年の伝統から色んな形での例会があることを知りました。また、今年度から例会の回数を減らすクラブもあり、会員の維持に苦心されている様子も見取れました。

一方で、各クラブの多彩な奉仕活動には学ぶ点が多く、感心させられました。会員数の違いは大きいのですが、行政とタイアップしたり、地域の団体と共催することで規模を大きくしたり、地域の文化活動を後押ししたり・・・これらのことは第3グループに限らず情報共有していきたいと思います。

ところで、富山第3グループは3月8日(日)新湊ロータリークラブをホストに都市連合会(IM)を開きます。ゲストスピーカーは藻谷浩介さん。株式会社 日本総合研究所 主席研究員で、「デフレの正体」「里山資本主義」など多くの著書がある地域エコノミスト。「地域の活性化」について語っていただこうと考えています。また、大懇親会では、新湊港にあがった「カニ」を賞味していただきながら、ロータリアンの親睦を図りたいと思います。多くのグループの会員のご参加をお待ちしています。



富山第4グループ ガバナー補佐 魚住 晃一（高岡北RC）

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地区運営並びにクラブ活動の推進に際し、格別のご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、クラブ活動や地域奉仕の取り組みを着実に進めることができました。

Assistant Governor's New Year Message

ガバナー補佐 新年のご挨拶

た。改めて厚く御礼申し上げます。

本年もガバナー補佐として、地区ガバナーの方針のもと、各クラブの皆様がより活力に満ちた活動を展開できるよう、橋渡し役としての責務を一層果たしてまいります。

社会環境が大きく変化する中、奉仕活動の在り方も柔軟な発想と新しい挑戦が求められています。地域に根差した活動をさらに充実させ、皆様と共に活動していきたいと思ひます。

また、クラブ間の連携を深め、会員一人ひとりが参加しやすく、意義を実感できる環境づくりにも努め、皆様と共に学び、共に成長しながら、地域に寄り添う活動を推進していきたいと思ひます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、心より祈念いたしますとともに、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



石川第1グループA ガバナー補佐 村中 高次郎（河北南RC）

新年あけましておめでとうございます。昨年中はいろいろな方と出会い、また、いろいろな体験や経験をさせていただきました。ロータリーは本当に楽しいところだとあらためて感じることも出来ました。石川第1グループAは会員数の多いクラブが多いせいか、各クラブの特色がはっきりしていて参考になることがとても多かったです。なるほどとうなずくことが多くて、これも補佐の役をいただいたおかげです。各クラブ様に感謝です。ありがとうございました。

今年度は、ロータリー国際大会が台湾は台北市で開催されます(6/13~17)。石川第1グループAからは40人以上が参加されるとのことで、台湾大会での交流をとて楽しみにしております。6月13日に開催される予定の2610地区ナイトには、他地区あるいは他国のロータリアンも参加されての地区ナイト(夕食会)となりそうです。交流の輪が広がり知人友人に友好クラブと今からワクワクしております。

今年も私はロータリーを楽しんでいきたいと思ひます、皆様もロータリーを楽しんでください。本年もよろしくお願いいたします。



石川第1グループB ガバナー補佐 多田 茂（白山石川RC）

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のガバナー補佐訪問、及びガバナー公式訪問の際には、各クラブの皆様に変えお世話になり、深く感謝申し上げます。この半年間は、

Assistant Governor's New Year Message

ガバナー補佐 新年のご挨拶

私にとって「ロータリーとは？」ということを考える良い機会であり、大変に有意義なものでした。所属以外のクラブを訪問したことで、素晴らしい雰囲気や意気込みを感じ、その内面に触れることが出来ました。また、ロータリアンで有り続ける意義や、所属クラブでの自身の立ち位置を考える機会ともなりました。

11月29日のRLI研修会にファシリテーターとして参加した際、参加者の中に87歳で入会された会員がおられました。ポリオプラスの事業とロータリーが持つ奉仕に対する考え方に賛同して、入会されたようです。私自身、25年のロータリー歴ですが、入会した時どんな気持ちで入会したのか、現在の気持ちはどうなのかを考えさせられました。ロータリーに所属している意味を皆様と一緒に考えていければと思っています。

皆様がロータリーの良さを一層感じることができるようになりますようご祈念申し上げます。残り半年、引き続きよろしくお願いいたします。



石川第2グループ ガバナー補佐

高見 恵子 (小松シティRC)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は小山ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問で、石川第2グループ8クラブを訪問させて頂き、素敵なロータリアンのご対応に大変お世話になり有難うございました。

今年度のメッセージは、「よいことのために手を取りあおう」。これを受けて各クラブでの事業の中心は、ほとんど能登の復興支援に充てられました。地区の補助金も活用され、「よいことのために」さまざまな支援が実行されていることに感激し、感謝を申し上げます。

また、「DEIだれもが笑顔でいごちの良いクラブ」をめざして、3年間の事業計画の継続に対しても、活動の歩みを止めることのない各クラブの行動力に深い感銘を受けております。3月1日(日)には石川第2グループ都市連合会(IM)を予定しております。4月26日(日)には石川第2グループ8RC親睦ゴルフ大会も開催致します。

皆様の大いなる行動力に大変力づけられております。あと6ヵ月間お付き合い頂きます様宜しくお願い申し上げます。

Assistant Governor's New Year Message

ガバナー補佐 新年のご挨拶



石川第3グループ ガバナー補佐 中村 敏幸（中能登まほろばRC）

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

微力で経験知識の乏しいガバナー補佐の私が、グループ7クラブに支えられ、何とか新しい年を迎えることが出来ました。

小山ガバナーと地区役員及び多くの会員皆様から、地区グループ内で実施されました災害復旧支援行事に際し、多大な援助を賜りましたことに感謝申し上げます。

地区内の現状ですが、罹災建物の公費解体も、ある程度進んできております。しかし、新たな住宅建設、復興事業はこれからであり、どれだけの時間と費用を要するか不透明な状況もあり、まだまだ安堵できません。

日常業務を淡々とこなせるようになることが最大目標です。そのような中で、地域の皆様から認知されるロータリークラブの活動を実施していくことが、現状では一番大切であると思っております。

2月にIMを開催します。グループ内の会員の友好を深め、皆様と将来に向けて明るい兆しが芽生えるような活動をしていきたいと願っております。さらなるご支援を宜しくお願い申し上げます。



石川第4グループ ガバナー補佐 山上 剛史（輪島RC）

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は石川第4グループの運営ならびに多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

ガバナー補佐として1年を振り返りますと、各クラブの皆様が困難な状況の中でも創意工夫を凝らし、奉仕の精神を力強く実践されてきた姿に何度も励まされました。その前向きな取り組みこそが地区全体の活力となり、第4グループに確かな希望と変化をもたらしたと確信しております。

本年も、クラブ同士が互いに学びあい理解を深めながら、より大きな成果を生み出せる様に橋渡しの役割をしてまいります。多様な価値観を尊重しあう環境を整え、新たな挑戦を後押しすることで、次代につながる奉仕の輪をさらに広げていきたいと存じます。

皆様におかれましては、本年が素晴らしい1年となりますようご祈念するとともに、引き続き温かいご指導、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ロータリー研究会報告

2025-26年度 ガバナーエレクト

翠田 章男 (富山みらいRC)

■ロータリー研究会に参加して



第54回ロータリー研究会が、フランチェスコ・アレツツォRI会長、ホルガー・クナークTRF管理委員長をお迎えし、2025年11月19日(水)と20日(木)の2日間パシフィコ横浜にて開催されました。17日のロータリー財団地域セミナー、18日のGELS #2 (第2回ガバナーエレクトラーニングセミナー)、GNLS #1 (第1回ガバナーノミネーターラーニングセミナー)に続いての開催で、私と北川ノミニーとしては4日間の長丁場となりました。

招集者である水野RI理事をはじめ、三浦実行委員長、企画委員会、特別委員会の皆様のおかげで、素晴らしい学びの場をご提供いただきました。

19日の午後の第1セッションは「会員増強+退会防止」がテーマで、若林第2地域ロータリー会員増強コーディネーターの脚本による5本の寸劇「ロータリーあるある」でした。8人の出演者(各地区のリーダー達)は短い稽古時間の割に達者な演技を披露され、特に我が2610地区黒川PGは絶妙な味を醸し出されまして、昼一の眠さを吹き飛ばす満堂爆笑の嵐を呼びました。

20日の第4セッションでは神野第2地域ロータリー公共イメージコーディネーターがポリオ根絶エピソードを語るMCとして、なんとポリオウィルスに扮しておられました。同じく第4セッションでは、小山ガバナーから能登半島復興支援についての御礼と報告があり、今後とも支援を継続していく熱い決意表明がなされました。

ところで18日のエレクトとノミニーの合同セッションでは、初めて私と北川ノミニーがコンビで、他の4地区のコンビとのラーニングを経験しました。テーマは「地区の管理」です。地区内で起きる様々な危機に対してどのように対応するのか、4つのケーススタディを使っのラーニングでした。

この経験も踏まえて、2610地区においても、ますますラーニングを積極的に進めてみたいと思いました。どうか皆様よろしくお願いいたします。

委員会報告

地区RLI委員会 委員長

八木 良彦 (白山RC)

■ RLIパートⅡ開催される！

RLIパートⅡが11月29日(土)に石川県地場産業振興センターで開催されました。受講者の参加人数は46名です。石川県から25名、富山県から21名が参加されました。その中でロータリー歴が1年未満の方10名、3年未満の方14名、最長ロータリアン36年の方が参加されました。また、衛星クラブの方も参加されました。クラブ数は23クラブになります。



多様で多彩なロータリアンの参加の中で、これからのロータリーの未来を展望出来るような「気付き」や「発見」、これからの活動への「智恵」が話し合われました。



今回で全パートを終了された方が3名いました。北川ガバナーノミニーより終了バッチが1人ひとりに渡されました。

また今回は柴田地区ロータリー財団委員長、松崎地区ロータリー米山記念奨学会委員長がアドバイザーとしてそれぞれのセッションに参加して頂きました。深い学びが出来たと思います。参加者の皆さんがRLIでのラーニングの学び方の経験を生かして、地区やクラブの活性化に繋がってほしいと思います。



次回のRLIパートⅢは2026年3月7日(土) 富山県高岡市「ウイング・ウイング高岡」で開催されます。どうぞ、ロータリアンの皆様のご参加をお待ちしています。

IM開催報告

富山第1グループ ガバナー補佐

橘 俊雄 (宇奈月RC)

■ 富山第1グループ IM開催報告

2025年11月29日(土)、うなづき友学館において、宇奈月ロータリークラブをホストクラブとして、富山第1グループインターシティ・ミーティング(IM)を開催しました。

当日は、特別出席者として、国際ロータリー第2610地区 ガバナー 小山 英一様、パストガバナー 大橋 聡司 様をお迎えし、グループ内各クラブの会長・幹事をはじめ、多くのロータリアンの皆様にご出席いただき、盛会のうちに開催されました。

テーマは、「奉仕」とは・・・。

基調講演には地元宇奈月町出身の放送作家、中野 俊成 氏をお迎えし「地域貢献と奉仕」と題してご講演をいただきました。地元、愛本地区の「日本一小さな花火大会」秘話、…日本一小さいけど愛が込められた花火大会。

さらに行動することの意義、などのお話を通して、「奉仕」の本質についてのお話は、参加者一同にとって、日頃のロータリー活動をあらためて見つめ直す貴重な機会となりました。

また、富山国際大学ローターアクトクラブより活動報告が行われ、若い世代ならではの視点や行動力に触れる有意義な時間となりました。若いメンバーを加えての交流は、世代を超えた理解とつながりを深め、今後のロータリー活動の広がりと可能性を感じさせるものとなりました。

今回のIMIは、「宇奈月ロータリークラブ40周年記念式典・祝賀会」と同時開催としたため、懇親会を兼ねた祝賀会は宇奈月麦酒館に会場を移して行われ、クラブの垣根を越えた交流と意見交換が活発に行われました。参加者相互の親睦がさらに深まり、富山第1グループとしての一体感をより一層高める有意義なIMとなりました。



【 基調講演 中野俊成氏 】



【 富山国際大学ローターアクトクラブ活動報告 】

ロータリー財団 グローバル補助金奨学生報告

グローバル補助金奨学生

大島 由

皆様、こんにちは。2610地区ロータリー財団グローバル補助金奨学生として、2025年11月よりオランダ・マーストリヒトにて留学を開始いたしました大島由と申します。本日は、到着から2ヶ月ほどの近況をご報告申し上げます。

【生活について】

11月にマーストリヒトに到着し、現在は生活の基盤を整えているところです。渡航前の手続きの段階から、まず直面したのは住居探しの難しさでした。オランダでは慢性的な住宅不足が続いており、新たに住居を確保することは非常に難しいと聞いていましたが、実際にその通りで、私も渡航前までに入居可能な部屋を見つけることができず、来年3月末まではホテル滞在を続ける予定です。このような状況もまた留学生活の一部として、柔軟に向き合っていきたいと思っています。



【マーストリヒト中心を流れるマース川】

大学まではホテルからバスで通学しています。オランダは「自転車の国」として知られており、街中の多くの人が自転車で移動しますが、私は長い間自転車に乗っていませんでしたこともあり、まだ乗りこなす自信がありません。いつか生活に慣れてきたら挑戦したいと思っています。道路には自転車専用のスペースがあり、その範囲内では歩行者より自転車の方が優先されるため、猛スピードで走ってくる自転車に気をつけて渡らなければなりません。

言語については、オランダ語の難しさを実感しています。特に“ij”など、日本語にはない綴り・発音が多く苦戦しています。一方、オランダの方々には皆とても流暢な英語を話すため、日常生活で困ることはあまりなく、その点では大変助けられています。

街中では11月半ばの時点で既にクリスマスの装飾やクリスマス用品の販売が始まっており、日本よりも少し早い印象を受けました。12月4日にはオランダやベルギー、旧オランダ領地域を中心に祝われる伝統的なお祭り「Sinterklaas(シンタクラス)」があり、地域の人々にとって大切な

季節行事だそうです。研究室でもプレゼントの交換をして盛り上がりました。また、研究室の教授のご自宅で開催されるクリスマスパーティーにも招待していただきました。ヨーロッパの方々にとってクリスマスがいかに大切な文化であるかを改めて感じています。



オランダ人を含め、日本のアニメが好きな同僚は多いですが、英語でのアニメのタイトルは日本のそれと異なるため、名前を言われてもピンと来ないのが残念なところです。私はアニメ好きなのでもっとそのような話題で話を膨らませたいのですが…。

【 Sinterklaas (シントクラス) イベントにて】

【研究について】

現在は、マーストリヒト大学にて「Methylglyoxal Production and Function in Neutrophil Immunometabolism (好中球の免疫代謝におけるメチルグリオキサールの産生と機能)」をテーマに研究計画を進めています。到着から間もないこともあり、研究室の設備や実験手順にまだ十分に慣れていない段階ですが、指導していただいている先生や同僚のサポートのおかげで、少しずつ環境に馴染み始めています。研究室には実に様々な国からやってきた人たちがいます。この留学では勿論オランダとの交流がメインではありますが、研究室においては多国籍交流をしています。現在も世界中で争いが絶えませんが、このような状況では人間は共通の興味・目標において協力し合えるのだと実感します。



【 マーストリヒト大学 】

プライベートの机がある部屋では、私がくしゃみをすると、同室の仲間が「Bless you ! 」と声をかけてくれます。日本ではそんなことは経験したことがなかったため、最初はびっくりしつつも、優しさに触れて心が温くなりました。それ以降私もそれにならい、他の人がくしゃみをすると「Bless you ! 」と言います。

現在少しずつ研究の基盤を固めているところです。本格的に実験に着手し、実験成果をProgress meeting 等で堂々と報告できるようになればと思っています。

【ロータリークラブとの交流】

まずマーストリヒト大学で、主な連絡担当を引き受けてくださっているメインロータリアンの先生とお会いしました。日本での留学経験もある先生で、大きなご縁を感じております。また、窓口となる1550地区のロータリークラブの委員長とは、到着後メールで連絡を取り、温かい歓迎の言葉をいただいております。実際の例会への参加は今後の予定ですが、研究や生活が落ち着き次第、積極的に交流を深めていきたいと考えております。

【おわりに】

マーストリヒトでの生活はまだ始まったばかりですが、多くの方々の支えのもと、充実した毎日を送っています。このような貴重な機会をいただけたのは、ロータリー財団、ホストクラブの皆様、そして地区の皆様のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

今後も研究と地域交流の両面で成長できるよう、努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ロータリー財団 グローバル補助金奨学生報告

グローバル補助金奨学生
中森 寧々

※この報告は2025年12月中旬に届いたものです。

皆様、ご無沙汰しております。グローバル補助金奨学生の中森です。スイスのジュネーブにあるジュネーブ国際開発研究大学院にて修士課程2年目となりました。日本では蒸し暑い夏から一転、寒い日が続いているようですね。皆さま、体調を崩されていませんか。こちらスイスでは、11月下旬に雪が降り、最近は5度前後の気温が続いています。12月に入ってから街もクリスマス仕様になり、寒さの中でも外出が楽しみになっています。

学期が始まってから早くも3か月ほどが経ち、授業も終盤に差し掛かっています。今学期は、「難民問題の解決とガバナンス」、「社会正義論」、そして「正義の境界:移民・労働・権利」の3つの科目に加え、フランス語を学んでいます。社会正義論の授業では、正義や社会運動、そして資本主義など、これまでとは少し異なる角度から移民・難民について考えることができ、本当に深い学びを得ています。授業数はこれまでより少なめですが、その分、次学期から本格的に始まる修士論文に向けた準備を着実に進めることができます。

また、以前少しご紹介した私が代表を務めるアジア学生団体CEASでは、10月に第5回東アジアフォーラムを開催しました。内容は、東アジアにおける脱植民地化、東(南)アジアの性的観光の現状、キャリアトーク、ネットワーキングセッションの4つのセッションで構成され、2日間にわたって行われました。



【学生団体CEASのメンバー:第5回東アジアフォーラムにて】

在学生のみならず、教授や卒業生も参加してくださり、とても充実したフォーラムとなりました。準備の段階では、うまくいかないことも多く心が折れそうになることもありましたが、終わった今では全てが貴重な学びとなり、チームの絆もより一層深まりました。フォーラムをきっかけに新しいメンバーも加わり、残りの期間、代表としてチームを引っ張る力をさらに磨いていこうと思っています。

さらに、来年2月に開催される International Cooperation Forum という、スイス連邦の開発・協力庁が主催する年次フォーラムに、学校を代表するユースアドバイザーチームの一員として参加する活動も始まりました。私のチームは、「紛争におけるAIの働き」に関してリサーチを行っています。このフォーラムは、国際協力や人道支援に関心のある政治家、研究者、民間企業、市民団体など、多様な関係者をつなぎ、現在の社会問題に関する解決策を協議する場です。11月にはベルンで他のチームメンバーとともに開発・協力庁を訪れ、意見交換を兼ねたミーティングにも参加してきました。テクノロジー分野は私の専門外ではありますが、多くを学べる貴重な機会となっており、楽しみながらリサーチを進めています。



【International Cooperation Forum
ユースアドバイザーグループで
ベルンを訪れた時の一枚】



【フォーラムの様子】

夏休み明けには、財団長のエリックさんをはじめ、1990地区のロータリアンの方々、新しい奨学生の皆さんとランチの機会もありました。夏休みの出来事や新しい奨学生の方々のお話など、とても楽しい時間を過ごすことができました。皆さんそれぞれ異なる分野の研究をしていますが、こうして定期的に集まり、学業の進捗を共有できる機会はとても貴重です。

次回の報告は年明けの投稿となります。本年も温かいご支援をいただきありがとうございました。皆様、どうぞ穏やかで温かい年末年始をお過ごしください。修士課程も残り半年と短いですが、2026年も皆様からのご支援に感謝しながら日々を過ごしてまいります。来年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



【アメリカ伝統行事のThanksgivingをお祝いしました！】

米山年末懇親会報告

米山奨学生

カウド, ヌール モハメド ヒシャム ファト (立山RC)

年末のロータリー・コミュニティ懇親会に参加する機会をいただき、心より感謝申し上げます。

本会は、米山奨学生として学生の皆さまと会員の皆さまが交流を深める貴重な場であり、日本語を実践しながら多くの方々とお話しできたことは、大変有意義な経験となりました。また、安心して食事を楽しめるようハラール料理をご配慮いただき、温かいお心遣いに深く感謝しております。

当日は、心に残るご講話や、学びの多い対話が数多くあり、改めてロータリーの精神と地域社会に対する皆さまの献身に強く感銘を受けました。特に、ロータリアンの皆さまや米山奨学生の仲間と語り合う中で、こうした交流の場が、異なる文化や価値観に触れ、より広い視野を育む大切な機会であることを実感いたしました。

米山奨学生としてこの懇親会に参加できたことは、私にとって特別な意味を持ち、温かく迎えてくださる皆さまのおかげで、大きな励ましと誇りを感じました。この経験は、今後の学業や社会貢献への取り組みにおいて、確かな支えとなると考えております。

今後の目標としては、日本語力をさらに高め、ロータリアンの皆さまとの交流をより深めていきたいと考えております。言語を通じて理解を深め、文化的・人的なつながりを一層強固なものにし、国際理解に寄与できる存在となるべく努力を続けてまいります。

改めまして、本行事を企画・運営いただいた皆さま、そして温かくお迎えくださったロータリーの皆さまに、心より御礼申し上げます。年末の良きひとときを一緒に、大変光栄に存じます。



米山年末懇親会報告

米山奨学生

アクテル, ニパ (新湊中央RC)

2025年12月6日にロータリー米山記念奨学会の年末パーティーに招待していただき、誠にありがとうございます。会場に入った瞬間、皆さんが温かい笑顔で迎えてくださり、すぐにリラックスできました。初めてお会いするメンバーもいましたが、その優しさのおかげで、楽しくリラックスした夜を過ごすことができました。パーティーでは、私と他の3人の奨学生がロータリー米山記念奨学会に感謝のスピーチをさせていただきました。日本語を話すときは少し緊張しますが、スピーチの時間にはとても緊張しました。感謝の気持ちをしっかりと伝えようと最善を尽くしました。

私のカウンセラーである横尾宗憲さんは、私がスピーチをきちんと行えるように全面的にサポートしてくれました。私は彼にいつも感謝しています。ロータリー米山記念奨学会のおかげで、日本で横尾宗憲さんのような守護者を得ました。パーティーの間、たくさんのおいしい日本食を楽しみました。もともと生魚は食べられないけれど、カウンセラーから生魚を食べよう挑戦を受けましたが、失敗しました。皆様がモンゴルの贈り物、チョコレート、そしてワインを楽しんでいました。イベント中、私はクラブの活動や昨年の思い出について多くの話を聞きました。メンバーが地域社会に尽力している様子を聞いて、私は深く感動しました。

私が日本で勉強できるのは、米山奨学金とロータリーのコミュニティからの支援と励ましのおかげであり、心から感謝しています。年末に皆様と一緒にこんなに温かくて意味のある瞬間を共有できたことは、2025年の私の最高の思い出の一つになりました。ロータリー米山記念奨学会の皆様のご親切とご支援に心より感謝申し上げます。



【 右からカウドヌールモハメドヒシャムファトさん、ニパさん、ニパさんのカウンセラー横尾さん 】

米山学友会報告

地区米山学友会 会長

ハン ジュンイ
範 雋偉

■国際奉仕活動報告:モンゴル歯磨き環境改善プロジェクト

国際ロータリー第2610地区米山学友会は、2025年10月11日から14日にかけて、モンゴル米山学友会と共同し、モンゴル国ウランバートル市において「歯磨き環境改善プロジェクト」を実施しました。本事業は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が提唱する米山学友会10月「教育」イベントの趣旨に基づくものであり、日蒙両国の米山学友会にとって初めての共同による国際奉仕事業です。

本プロジェクトは、現地の子どもたちの口腔衛生環境の改善を通じた健康増進を目的とするとともに、日本とモンゴルのロータリー関係者および米山学友会員間の国際交流を深化させることを主眼として実施されました。

モンゴルでは、保育園段階においては歯磨き指導や習慣化が一定程度行われている一方、小学校以上になると歯磨き専用設備の不足や指導体制の制約により、日常的な歯磨き習慣が継続しにくい状況が指摘されています。その結果、虫歯や歯周疾患の増加が社会的課題となっており、学校現場からも実効性のある環境整備が求められていました。

こうした現状を踏まえ、本事業ではウランバートル市立第39番学校を対象に、児童が安全かつ継続的に歯磨きを行える歯磨き専用洗面台を設置し、日常生活の中で自然に歯磨きが定着する環境づくりを行いました。

10月13日には第39番学校を訪問し、学校関係者の案内のもと教育現場の現状を視察した後、整備された歯磨きコーナーの贈呈セレモニーを実施しました。セレモニーでは、事業の目的や期待される効果について説明するとともに、設備の維持管理方法や授業・生活指導への活用方法について、学校側と具体的な意見交換を行いました。これにより、単なる設備提供にとどまらず、学校現場に根付いた持続可能な取り組みとするための共通認識を形成することができました。



2025年10月13日、モンゴル国ウランバートル市立第39番学校において、本プロジェクトの完成を記念するセレモニーを厳粛に執り行いました。

当日は、同市の報道機関である TenGer ニュース による取材が行われ、本国際奉仕活動の概要ならびに学校現場における歯磨き環境改善の意義について、広く報道されました。

米山学友会報告

地区米山学友会 会長

ハン ジュンイ

範 雋偉

■国際奉仕活動報告:モンゴル歯磨き環境改善プロジェクト

本事業を通じて構築された協力関係と得られた知見は、次年度以降の国際奉仕活動における重要な指針となるものです。今後も日蒙両国の米山学友会およびロータリークラブが緊密に連携し、教育環境の改善と国際交流のさらなる深化を目指して取り組んでいくことが期待されます。

謝 辞

結びに、本国際奉仕活動の趣旨にご理解とご賛同を賜り、格別のご支援ならびにご協力をいただきました皆様に対し、国際ロータリー第2610地区米山学友会を代表し、謹んで深甚なる謝意を表します。

皆様からの温かいご支援とご高配により、本プロジェクトは計画どおり円滑に遂行され、所期の成果を挙げることができました。ここに改めて心より御礼申し上げます。

ご支援・ご協力を賜りました皆様（敬称略・順不同）

金沢ロータリークラブ	松本 耕作
金沢ロータリークラブ	松崎 秀規
高岡北ロータリークラブ	八塚 昌俊
河北南ロータリークラブ	村中 高次郎
小矢部ロータリークラブ	嶋田 登
加賀白山ロータリークラブ	宮本 一夫
金沢百万石ロータリークラブ	藤間 勘菊
国際ロータリー第2610地区米山学友会 会長	範 雋偉
国際ロータリー第2610地区米山学友会 幹事	李 鵬

皆様のご支援により、本プロジェクトを成功裏に完遂することができましたことを、重ねて御礼申し上げます。

米山学友会報告

地区米山学友会 会長

ハン ジュンイ
範 雋偉

■「地区大会を終えて」（米山学友会会長メッセージ）

2025年10月25日および26日に開催されました地区大会におきまして、米山学友ならびに米山奨学生の皆様には、早朝よりご参集いただき、「第5回 米山学友による世界大会」開催支援のための募金活動に格別のご尽力を賜りました。ここに、会長として、また第2610地区米山学友会を代表し、心より厚く御礼申し上げます。

本募金活動においては、各位が本事業の趣旨と意義を深く理解されたうえで、終始節度ある態度と誠実な姿勢をもって来場者へ呼びかけを行われました。その結果、募金総額は30万円を超え、前年度実績の約三倍に達する顕著な成果を収めることができました。これは、米山学友・米山奨学生が主体的に行動し、ロータリーの理念を具体的な実践として示された成果であり、多くのロータリアンから高い評価と賛意が寄せられました。

また、米山奨学生・米山学友紹介セッションにおいては、各位が落ち着いた所作と明瞭な言葉により堂々と挨拶を行い、その姿勢は会場に強い印象を残しました。大懇親会においても、各クラブのロータリアンと積極的に交流を図られ、相互理解と親睦を深める有意義な時間となりました。これらの交流を通じて築かれた信頼関係は、今後の活動のみならず、長期的なロータリーのつながりにおいても重要な礎となるものと確信しております。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、将来、母国と日本との懸け橋となり、国際社会において活躍する人材を育成することを目的としております。ここで求められる「優秀さ」とは、学業成績のみならず、異文化理解力、協調性、そして社会に貢献しようとする高い倫理観を兼ね備えていることを意味します。米山奨学生・米山学友の皆様が、ロータリークラブとの交流や奉仕活動を通じてこれらの資質をさらに磨かれ、将来、ロータリーの理想である国際平和の創造と維持に寄与されることを、強く期待しております。

当日、多くのロータリアンより、米山奨学生・米山学友の皆様の真摯な取り組みに対し、称賛と感謝の声が数多く寄せられました。これらの評価は、本活動がロータリー米山記念奨学会の理念に合致し、地区全体としても極めて意義深いものであったことを示すものです。

米山学友会報告

地区米山学友会 会長

ハン ジュンイ
範 雋偉

■「地区大会を終えて」（米山学友会会長メッセージ）

さらに、10月25日の指導者育成セミナーにおけるロータリー米山学友会活動報告、ならびに26日の「第5回 米山学友による世界大会」に関するPRの機会を通じ、二日間にわたり本会の活動成果と将来展望を広く発信する貴重な場を得ることができました。

なお、このような有意義な活動の機会を賜りましたのは、地区ガバナー 小山 英一 様をはじめ、地区大会の企画・運営にご尽力された実行委員会の皆様、ならびに地区ロータリー米山記念奨学会委員長 松崎 秀規 様および委員会の皆様のご理解とご支援の賜物であります。ここに改めて深甚なる謝意を表します。

本活動を通じて得られた経験が、米山奨学生・米山学友の皆様にとってロータリーとの結びつきを一層強固なものとし、今後の学業ならびに社会貢献活動への志をさらに高める契機となることを切に願っております。今後とも、本会の活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2025年10月25日の募金活動に際しましては、地区ロータリー米山記念奨学会委員会の皆様より、格別のご理解と多大なるご協力を賜りました。

委員会の皆様の周到なご準備ならびに当日のきめ細やかなご対応により、運営は終始円滑に進行し、実り多い募金活動を実施することができました。

ここに、改めまして衷心より深く感謝申し上げます。

米山学友会報告

地区米山学友会 会長

ハン ジュンイ
範 雋偉

■「地区大会を終えて」(米山学友会会長メッセージ)



また、2025年10月26日の募金活動におきましては、米山奨学生の皆様の熱意あふれるご協力により、顕著な成果を上げることができました。

早朝からの積極的な呼びかけならびに主体的な参加は、多くのロータリアンに深い感銘を与え、本活動成功の大きな推進力となりました。

奨学生の皆様の献身的かつ真摯な姿勢に対し、ここに深甚なる敬意と感謝の意を表します。

ロータリアンの皆様におかれましては、今後とも米山学友ならびに奨学生へ、温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

行事予定

2026年1月・2月・3月

日付	曜日	行事予定	場 所	時間・備考
1月 <職業奉仕月間>				
3	土	第7回米山学友会理事会 米山学友会主催 米山新年会	富山市内	
11-15	日～木	国際協議会	フロリダ州オーランド	
18	日	インターアクト台湾研修第2回事前研修会	高岡市生涯学習センター	13:30～16:00
24	土	第3回地区ロータリー財団委員会	石川県地場産業振興センター本館	13:00～14:00
		補助金管理セミナー		14:00～16:00
		第3回地区国際青少年交換委員会・新年会	ホテル日航金沢	17:00～
25	日	第10回全国地区ロータリーアクト委員長ならびに地区ロータリーアクト代表合同会議	AP東京八重洲+ZOOM	13:00～16:00
		国際青少年長期受入交換学生(オーストラリア)来日オリエンテーション	ITビジネスプラザ武蔵	9:30～11:45
31	土	2025-26年度 第2回諮問委員会	ホテル金沢	13:00～15:00
2月 <平和と紛争予防／紛争解決月間>				
1	日	第3回全国IA委員長会議	AP東京八重洲+ZOOM	13:00～16:00
3	火	第8回米山学友会理事会	Zoom	
8	日	石川第3グループIM	のと楽	16:00～
14	土	第5回地区ロータリー米山記念奨学会委員会	金沢ニューグランドホテル	14:00～15:00
		地区米山記念奨学会 期間終了式		16:00～17:00
		地区米山記念奨学生 感謝の集い		17:30～20:00
		地区米山学友会 入会式		20:00～20:30
		国際青少年第3回派遣交換学生オリエンテーション(旅行会社から渡航説明)	石川県国際交流センター	13:30～16:45
15	日	インターアクト台湾研修第3回事前研修	石川県国際交流センター	
17	火	富山第2グループIM	オックスカナルパークホテル富山	12:30～15:00
21	土	第4回地区RLI委員会	石川県地場産業振興センター	13:30～16:30
22	日	地区チームラーニングセミナー(DTLS)	オックスカナルパークホテル富山	13:30～
25	水	第4回国際ロータリー第2地域地域ミーティング	ホテルニューオータニ東京	16:00～17:00
未定		第3回地区国際奉仕小委員会		
3月 <水と衛生月間>				
1	日	第6回全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会議	AP日本橋	13:00～16:00
		石川第2グループIM	ウレシヤス小松	14:00～18:30
7	土	RLIパートⅢ	高岡市 ウイング・ウイング高岡	9:30～16:30
		RLIパートⅢ懇親会	カジュアルダイニング・ボン	17:00～19:00
		第3回地区職業奉仕小委員会		10:00～11:45
		富山第4グループIM		ホストクラブ:高岡北RC
8	日	富山第3グループIM	射水市新湊地区内の会場	ホストクラブ:新湊RC
		会長エレクトラーニングセミナーⅠ(PELSⅠ)	オンライン開催	9:00～12:30
14	土	会長エレクトラーニングセミナーⅡ(PELSⅡ)	富山県民会館	13:00～17:30
15	日	インターアクト台湾研修第4回事前研修	高岡市生涯学習センター	
23	月	富山シティーRC創立30周年記念式典・祝賀会		
26～30	木～月	インターアクト海外研修	台湾	
28～31	土～火	受入交換留学生の修学旅行	広島・大阪	
未定	土・日	第3回地区会員増強委員会		
未定		第3回地区社会奉仕小委員会		午前
未定		第38回全国RA研修会東京会議		

会員数報告

2025年11月分

2025年11月末日現在

グループ	クラブ名	会員数			女性会員			マイロータリー登録率
		期初	月末	増減	期初	月末	増減	
富山第1グループ	朝 日	21	22	1	2	2	0	19.05%
	黒部中央	22	22	0	2	2	0	40.91%
	入 善	7	7	0	0	0	0	83.33%
	宇 奈 月	27	26	-1	2	2	0	100.00%
	魚 津	18	18	0	2	2	0	72.22%
	魚 津 西	15	16	1	1	1	0	50.00%
	6 R C	110	111	1	9	9	0	60.92%
富山第2グループ	越中八尾	19	19	0	2	2	0	42.11%
	上 市	17	20	3	4	4	0	21.05%
	立 山	13	14	1	1	1	0	28.57%
	富 山	108	107	-1	3	3	0	19.63%
	富山フィー	73	76	3	0	0	0	39.47%
	富 山 南	55	62	7	1	2	1	58.33%
	富山みらい	83	88	5	15	15	0	53.41%
	富 山 中	49	51	2	6	8	2	49.02%
	富 山 西	67	68	1	0	0	0	30.88%
	富山大手町	50	51	1	5	5	0	45.10%
	10 R C	534	556	22	37	40	3	38.76%
富山第3グループ	射 水	32	31	-1	1	1	0	48.39%
	東となみ	18	18	0	1	1	0	100.00%
	新 湊	40	40	0	2	2	0	31.71%
	新湊中央	12	13	1	0	0	0	30.77%
	高 岡	78	79	1	3	3	0	30.38%
	高岡万葉	61	60	-1	4	3	-1	40.00%
	砺 波	41	40	-1	4	4	0	30.00%
	7 R C	282	281	-1	15	14	-1	44.46%
富山第4グループ	氷 見	31	32	1	4	4	0	28.13%
	氷見中央	11	11	0	1	1	0	27.27%
	南 砺	42	44	2	3	3	0	50.00%
	小 矢 部	38	41	3	4	4	0	45.10%
	小矢部中	42	46	4	0	0	0	26.09%
	高 岡 北	32	32	0	4	4	0	37.84%
	高 岡 西	42	43	1	2	2	0	48.84%
	7 R C	238	249	11	18	18	0	37.61%

ローターアクトクラブ名	会員数			女性会員			マイロータリー登録率
	期初	月末	増減	期初	月末	増減	
南 砺	1	1	0	0	0	0	100.00%
富山国際大学	17	15	-2	11	11	0	11.11%
金 沢 東	17	19	2	6	7	1	100.00%
金 沢	15	18	3	3	5	2	81.82%
小 松	2	3	1	0	0	0	100.00%
金 城 大 学	16	16	0	16	16	0	0.00%
6RAC	68	72	4	36	39	3	50.00%

グループ	クラブ名	会員数			女性会員			マイロータリー登録率
		期初	月末	増減	期初	月末	増減	
石川第1グループA	河 北	22	23	1	0	0	0	52.17%
	河 北 南	32	30	-2	3	2	-1	66.67%
	金 沢	120	123	3	2	2	0	45.53%
	金 沢 東	88	91	3	5	5	0	56.04%
	金沢香林坊	98	100	2	0	0	0	82.00%
	金 沢 南	52	59	7	5	6	1	59.32%
	6 R C	412	426	14	15	15	0	60.29%
石川第1グループB	白 山	32	31	-1	5	5	0	48.39%
	白山石川	36	38	2	4	5	1	57.89%
	金沢百万石	30	29	-1	14	14	0	66.67%
	金 沢 北	38	39	1	5	5	0	53.85%
	金沢みなと	45	50	5	5	6	1	54.00%
	金 沢 西	42	43	1	6	7	1	62.79%
	野 々 市	42	42	0	6	6	0	61.90%
	7 R C	265	272	7	45	48	3	57.93%
石川第2グループ	加 賀	73	74	1	5	5	0	63.51%
	加賀中央	27	28	1	8	9	1	21.43%
	加賀白山	25	24	-1	1	1	0	17.39%
	小 松	46	48	2	5	5	0	56.25%
	小 松 東	35	35	0	5	5	0	100.00%
	小松シティ	28	31	3	4	6	2	31.25%
	能 美	48	49	1	1	1	0	16.33%
	山 中	15	14	-1	0	0	0	14.29%
石川第3グループ	8 R C	297	303	6	29	32	3	40.06%
	羽 咋	32	33	1	1	1	0	90.91%
	中能登まほろば	13	13	0	1	1	0	69.23%
	中 島	8	9	1	0	0	0	33.33%
	七 尾	43	47	4	0	0	0	65.96%
	七尾みなと	49	50	1	1	1	0	58.00%
	志 賀	23	23	0	4	4	0	78.26%
	富 来	14	14	0	1	1	0	57.14%
石川第4グループ	7 R C	182	189	7	8	8	0	64.69%
	穴 水	12	11	-1	2	2	0	36.36%
	能 都	36	37	1	2	2	0	32.43%
	珠 洲	14	13	-1	0	0	0	23.08%
	内 浦	18	17	-1	3	3	0	22.22%
	輪 島	26	28	2	2	2	0	13.79%
	5 R C	106	106	0	9	9	0	25.58%
63RC合計		2,426	2,493	67	185	193	8	47.56%

衛星クラブ名	会員数			女性会員		
	期初	月末	増減	期初	月末	増減
小矢部みらい	12	19	7	3	4	1
高岡北ルミナス	9	10	1	4	4	0

R 財団・米山記念奨学会寄付者一覧

R財団 寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ク ラ ブ	氏 名	日 付	回 数
南 砺	岩 木 貴 之	11 月 28 日	2回
	石 崎 和 三	11 月 28 日	1回
	尾 山 裕 和	11 月 28 日	1回
	久 恵 龍 三	11 月 28 日	1回
	谷 口 和 尋	11 月 28 日	1回
	水 口 秀 治	11 月 28 日	1回
	森 雄 一	11 月 28 日	1回
能 美	山 岸 大 成	11 月 28 日	2回
	北 正 和	11 月 28 日	1回
七 尾	宮 崎 博	11 月 28 日	5回
	井 村 能 尚	11 月 28 日	5回
	宮 川 晴 行	11 月 28 日	4回
	木 下 博 安	11 月 28 日	3回
	伊 藤 隆 行	11 月 28 日	1回
七尾みなと	木 下 徳 泰	11 月 28 日	2回
志 賀	佐 々 木 暢 盈	11 月 25 日	4回

ポール・ハリス・フェロー

ク ラ ブ	氏 名	日 付
南 砺	野 村 守	11 月 28 日
能 美	安 田 由 煥	11 月 28 日
七 尾	高 橋 齊	11 月 28 日
	白 山 竜 俊	11 月 28 日
志 賀	上 杉 幸	11 月 25 日

使途指定寄付

寄 付 名 称	氏 名	日 付
ポリオプラス	富山みらいロータリークラブ	10 月 31 日
ポリオプラス	小 松 東 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ	11 月 17 日
ポリオプラス	小松シティロータリークラブ	11 月 19 日
ポリオプラス	中能登まほろばロータリークラブ	11 月 27 日
年 次 基 金	中能登まほろばロータリークラブ	11 月 27 日

R米山記念奨学会 寄付

米山功労者 メジャードナー

ク ラ ブ	氏 名	日 付	回 数
高 岡	山 本 毅	11 月 7 日	40回

米山功労者 マルチプル

ク ラ ブ	氏 名	日 付	回 数
金 沢 西	丸 井 洋	11 月 19 日	4回
七 尾	津 田 晃	11 月 26 日	3回

米山功労者

ク ラ ブ	氏 名	日 付	回 数
七 尾	清 水 真 一 路	11 月 26 日	1回
志 賀	佐 々 木 暢 盈	11 月 25 日	4回

米山功労法人

◆クラブ扱い特別寄付◆

寄付名称	寄付者	寄付金額	日付
特別寄付	中能登まほろばロータリークラブ	10,000円	11月27日

会員異動

入会

クラブ	氏名	日付
富山南	清水 宏計	11月7日
	古川 元規	11月28日
	高橋 蓮花	11月28日
富山大手町	五十島 哲夫	11月10日
金沢南	笠瀬 晃	11月11日
羽咋	藤島 健一	11月1日

ローターアクトクラブ	氏名	日付
金沢東	中島 滉平	11月25日
金沢	鷲北 雄翔	11月1日

退会

クラブ	氏名	日付
金沢	江見 昌大	11月12日
小松シティ	三安 満昭	11月30日

会員身分変更

クラブ	氏名	日付	身分
金沢百万石	石丸 幹夫	11月1日	名誉会員

ご冥福をお祈りいたします



木下 弘治 会員(金沢香林坊RC)
2025年11月21日(享年80歳)
元木下耳鼻咽喉科医院 院長
ロータリー歴24年